

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第6部門第4区分  
 【発行日】平成18年4月6日(2006.4.6)

【公開番号】特開2000-293965(P2000-293965A)  
 【公開日】平成12年10月20日(2000.10.20)  
 【出願番号】特願平11-100362  
 【国際特許分類】

**G 1 1 B 20/24 (2006.01)**  
**G 1 0 L 15/20 (2006.01)**  
**G 1 0 L 21/02 (2006.01)**  
**H 0 4 B 15/00 (2006.01)**

【F I】

G 1 1 B 20/24  
 G 1 0 L 3/02 3 0 1 D  
 H 0 4 B 15/00

【手続補正書】

【提出日】平成18年2月17日(2006.2.17)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】メカノイズ低減装置及びメカノイズ低減方法

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】 時間的に間欠して発生するメカノイズが混入した音声信号からノイズ成分のみを低減させた音声信号を得るためのノイズ低減装置であって、

想定されるメカノイズ信号を予め標本抽出(サンプリング)して、疑似ノイズ波形としてメモリに記録させる手段を有し、

マイクから收音されるメカノイズのノイズピッチで上記メモリから疑似ノイズを読み出して、入力信号から減算することによりノイズ低減を行うメカノイズ低減装置。

【請求項2】 請求項1に記載のメカノイズ低減装置において、

上記ノイズ低減動作時にLMS法(最小2乗法)で現状のマイクからのノイズ波形と疑似ノイズ波形の差を修正するような学習効果を持たせたメカノイズ低減装置。

【請求項3】 時間的に間欠して発生するメカノイズが混入した音声信号からノイズ成分のみを低減させた音声信号を得るためのノイズ低減方法であって、

想定されるメカノイズ信号を予め標本抽出(サンプリング)して、疑似ノイズ波形としてメモリに記録させ、

マイクから收音されるメカノイズのノイズピッチで上記メモリから疑似ノイズを読み出して、入力信号から減算することによりノイズ低減を行うメカノイズ低減方法。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0001

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明はメカノイズ（機械的部分から発生し音声信号に混入するノイズ）を低減するための装置及び方法に関する。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

本発明は、複数種類のノイズが発生する場合や間欠的に発生するノイズに対して効率良くノイズ低減できるようにすることを課題とする。